

グリーンモビリティ アイデアソンへの参加

2024年12月5日

2024年12月5日に沖縄科学技術大学院大学（OIST）で開催された、グリーンモビリティ アイデアソンに、当研究所から藤崎耕一主席研究員・研究統括が基調講演者の一人として参加しました。

この行事は、欧州地域と日本の科学技術分野の協力を支援し、強化するために、EUが資金支援して始まり、欧州各地の科学技術関係組織と日本の国立研究開発法人科学技術振興機構が参加するEuropean Interest Group (EIG) Concert-Japanという欧日の共同活動枠組みの中の一つの第10回共同研究「炭素中立的な都市のための解決策」(Solutions for Carbon-Neutral Cities) 分野の中で選定された2024年-2027年の国際共同研究プロジェクト「スマートな交通のために社会に根ざした積極的な枠組み」(A proactive Social-based framework for SMART Transportation (SO-SMART)) の一環として実施されました。当該国際共同研究プロジェクトは、奈良先端科学技術大学院大学（NIST）先端科学技術研究科情報科学領域ソーシャル・コンピューティング研究室の若宮翔子准教授が主導し、トルコ、ハンガリー及びフランス並びにOIST及び京都工芸纖維大学の研究者から成るチームが推進しています。沖縄県恩納村石川地区をモデルとして、環境に配慮した持続可能なスマートな交通のための仕組みを住民その他の関係者と共に設計して開発することが目指されています。

当日は、当該プロジェクトに参加・関係する各国の研究者の他、OISTで活動する内外からの研究者と学生、当該地域の住民、県・周辺市町村、公共交通事業者、新モビリティサービス事業者等多数が参加する中で、基調講演と質疑を参考にしつつ、参加者が、様々な観点に分かれて、当該地域内にとどまらない交通問題の解決策のアイデアを限られた時間の中で議論して編み出し、持ち寄りました。

■当日のプログラム概要

- ・開会挨拶 Christophe Claramunt 仏University of Western Blue Planetのための学際大学院 Deputy Director 教授
- ・当該プロジェクトの紹介 若宮 翔子 NIST先端科学技術研究科情報科学領域 ソーシャル・コンピューティング研究室准教授
- ・歓迎挨拶 Gil Granot-Mayer OIST首席副学長（技術開発革新担当）
- ・基調講演（原文は英文）
①星 明彦 内閣府沖縄総合事務局運輸部長
「沖縄における交通のリ・デザイン」
②本間 裕大 東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門准教授 複雑系社会システム研究センター長
「限りない運転に向けて：自動運転システムと低炭素車両技術の調和」
③藤崎 耕一 運輸総合研究所主席研究員・研究統括
「ウェルビーイングのための持続可能な新しいモビリティサービスのための提案：日本の事例の比較分析」
 - ・以前のHackathon「持続可能な交通」の振り返り
 - ・Ideathonに向けた課題提起とグループ組成
 - ・Ideathon（各グループに分かれてのアイデアの検討）
 - ・各グループからの発表
 - ・表彰と閉会



開会挨拶するClaramunt教授



プロジェクトを紹介する若宮准教授



歓迎挨拶をするGranot-Mayer副学長

■当研究所藤崎主席研究員・研究統括による基調講演の概要

公共交通を巡る最近の状況（少子高齢化、運転手不足、高齢者外出におけるマイカー依存状況）及び新モビリティサービス事業に関する制度の概要に触れた上で、当研究所における2つの共同研究調査「新しいモビリティサービス」（2020-21年度）及び「高齢者等の移動手段確保方策」（2021-23年度）におけるインタビュー調査事例の中から計12の地域モビリティーの取組事例における課題と特徴等を説明し、既存の地域公共交通事業者との関係と活用、運賃設定、利用者のニーズ等に適した技術の活用、地域コミュニティー経営等の観点に絞った気づきを提案しました。加えて、MaaSの基本的な要素及びライドシェアの人々の意味（ride-hailingとの違い）について情報提供を行いました。

（なお、当研究所の上記共同研究調査は、成果を次のとおり順次公表済）

共同研究調査「新しいモビリティサービス」

- https://www.jttri.or.jp/research/transportation/newmobility_portal.html
- ・中間報告書「新しいモビリティサービスを我が国で持続可能にするために」（2021年）
- ・書籍「ウエルルビーイングを実現するスマートモビリティ」（2022年）
- ・査読論文 “Empirical recommendations based on case studies in Japan for sustainable innovative mobility in rural areas”
(Asian Transport Studies 8 100079-100079掲載 2022年)
<https://doi.org/10.1016/j.eastsj.2022.100079>



共同研究調査「高齢者等の移動手段確保方策」

- https://www.jttri.or.jp/research/transportation/the_elderly_transportation.html
- ・「高齢者等の移動手段確保方策に関する提言」（2023年）
- ・査読論文「地域特性が異なる各地域のデマンド交通の事例における利用者増加をもたらした要因ならびに課題について」（日本交通学会「交通学研究」第67号掲載 2024年）
- ・書籍「移動困窮社会にならないために」（2024年）
<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BD06641921>



基調講演する星部長



基調講演する本間准教授



基調講演する藤崎主席研究員



集合写真